

第2回豊中市学校教科用図書選定委員会 会議録

1. 日 時 令和6年(2024年)7月1日(月)9時30分～16時30分

2. 場 所 豊中市教育センター

3. 出席者 委員14名

4. 内 容

(1) 委員長あいさつ

(2) 調査報告会資料について

(3) 調査報告会について

①選定委員からの質問に先立ち、委員長より調査活動に対する謝意及び調査報告会での留意事項について説明することを確認する。

②調査員からの報告概要及び主な質疑

【国語】

- ・組織・配列、学びの工夫の観点等について報告があった。
- ・学び方の工夫、補充的な学習・発展的な学習の観点から、三省堂、光村を評価する調査員が多かった。

〔主な質疑〕

- 委 員：個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実という観点でいえば、どの発行者が一番工夫されていたか。
- 調査員：三省堂のQRコードが非常によくできており、例えば作家と作品のからみが分かりやすい。漢字の練習に関しては東書と三省堂が勉強しやすい。
- 調査員：三省堂の教科書の中で、思考の方法とそれを補助するチャート、図の使い方が適切で、詳しく説明されている。学んだことをこれからの活動に生かしていける。
- 調査員：東書の手引は個別に学習が進められるようステップが示されている。また資料編として関連付けるような教科書の作りになっており、自学自習に活用できる。
- 委 員：中学校3年間の多感な時期に、どんな物語や説明文を先生の側から読ませたいか。そういった観点で、この発行者というのがあればお聞かせいただきたい。
- 調査員：光村図書は中学生を登場人物にしている。中学生はいろいろな心の変化があり、葛藤などを学年が進むにつれてとらえられるような教材が選ばれている。
- 調査員：東書は2年生で地球環境、3年生で国際社会が配置されており、共生社会を扱って

いるのがよい。

- 委員：豊中の子どもたちに書く力をつけることは重要。その際には説明的な文章を用いた授業展開が重要になると思われる。今回の教科書の調査の中で、説明的文章に関わって、調査されたことをお聞かせいただきたい。
- 調査員：三省堂は説明的文章の前に短編教材が入っており、基礎を身に付けさせることができるような配列になっている。光村は文章と図表を関連付けて読むという力がつけられるよう、数種類の図を用いて関連付けながら学習を進められるような教材が多い。
- 調査員：三省堂が教材の後に図を使って説明されているのでわかりやすい。

【書写】

- ・人権の取扱い、学びの工夫の観点等について報告があった。
- ・学び方の工夫の観点から、光村を評価する調査員が多かった。

〔主な質疑〕

- 委員：中学校の一人の机のスペースは限られている。実際に机に置いて使うという観点ではどの教科書がよかったか。
- 調査員：光村は両開きなので見やすい。
- 委員：硬筆の観点でよい発行者はどこか。
- 調査員：光村の別冊書写ブックはよい。宿題にもしやすい。
- 調査員：別冊があることで、練習量も多くとれる。
- 委員：社会に出て生かせるという観点ではどの教科書がよかったか。
- 調査員：東書にはお礼状を書くことが詳しく書かれている。中学校ではお礼状を書くことが実際にあるため、書き方などが説明されているのが見やすいと感じる。
- 調査員：光村は入学願書の書き方がある。東書は書籍のポップの書き方もあり普段の授業でも扱える。
- 委員：楷書や行書など日本の伝統文化を学ぶ上でよいと思う教科書はどれか。また、それはどういう理由からか。最近文字を書く機会が少なくなっているため、書くことに意義を感じられるものがあれば教えてほしい。
- 調査員：光村には書く意義について書かれているページがある。東書は左利きの生徒が練習できるスペースがある。
- 調査員：どの教科書も文字文化は詳しく書かれている。教出は文化的な紹介のコラムが豊富

が多い。

- 委員：親しみやすく、子どもたちが使いやすい発行者はどれか。
- 調査員：光村は解説動画が詳しく、使いやすい。
- 調査員：教出の学びリンク、三省堂の二次元コードの一覧はわかりやすく、家庭でも学習できるよう工夫されている。

【地理】

- ・学びの工夫、内容の程度の観点等について報告があった。
- ・組織・配列の観点から、教出、日文を評価する調査員が多かった。

〔主な質疑〕

- 委員：主体的に学ぶという観点について報告をお願いしたい。
- 調査員：日文は各章ごとにまとめのページがある。そのページを参考にしながら、自分自身の考えや学習のまとめを書くことができる。
- 調査員：教出には見通しの立て方やまとめ方のページがあり、簡潔に単元で学ぶことがまとめられている。日文は「学習のはじめに」に流れが書かれおり、わかりやすい。
- 委員：写真・地図・グラフなど、ページの構成がわかりやすい発行者はどれか。
- 調査員：どの発行者も全体の構成がわかりやすい。
- 調査員：教出にはヨーロッパ、EU年表がわかりやすく入っている。
- 調査員：どの発行者の資料も大きく見やすい。
- 委員：SDGsや総合と関連付けて学習しやすい発行者はどれか。
- 調査員：日文は最後に「議論してみよう」というページがあり、他教科と関連付けやすい。
- 調査員：どの発行者にも記載はあるが、日文は関連するところにSDGsマークが書かれており、生徒が理解しやすい工夫がある。

【地図】

- ・内容の程度、組織・配列の観点等について報告があった。
- ・内容の程度の観点から、帝国を評価する調査員が多かった。

〔主な質疑〕

- 委員：地図帳に関して各者の特徴的なことを教えてほしい。
- 調査員：帝国はその地域に関わる年表など、追加の情報が詳しい。

- 調査員：帝国はイラストや図があり、特徴がわかりやすい。
- 委員：索引検索がしやすいのはどちらの発行者か。
- 調査員：帝国は大阪府が細かく、豊中市の記載もある。

【歴史】

- ・学び方の工夫、人権の取扱いの観点等について報告があった。
- ・目標・内容の取扱い、補充的な学習・発展的な学習の観点から、東書、帝国、日文を評価する調査員が多かった。

〔主な質疑〕

- 委員：各発行者のよいところを教えてください。
- 調査員：日文は表現の仕方が子どもにわかりやすいと思う。
- 調査員：学び方の工夫や活動は東書。小学校では日文を使用しているため、系統的に学ぶという観点では日文。同じ発行者だとレイアウトを含めて、子どもは戸惑いがない。
- 調査員：帝国は冒頭の見開きでイラストが載っており、各章で学習する内容のイメージがつきやすい。教出は冒頭の見開きで学習課題を提示。その後も「確認しよう」「表現しよう」などの発問があり、学んだことを確認しやすくなっている。
- 委員：それぞれの発行者で学習課題の載せ方が違うが、学習課題として豊中の子どもたちに適切なものはどれか。
- 調査員：帝国は「確認しよう」と「説明しよう」の難易度が異なる発問がある。「確認しよう」はどの生徒でも取り組みやすいと感じる。
- 調査員：山川は課題から始まり、歴史資料の活用、最後ステップアップと、1時間の流れがわかりやすい。
- 調査員：帝国は現代の日本の課題などが掲載されており、公民とのつながりにもなる。
- 調査員：日文は学習課題の下に見方・考え方のヒント等が書いてあり、学習課題に取り組みやすい。

【公民】

- ・組織・配列、人権の取扱いの観点等について報告があった。
- ・観点全体のバランスについての報告があった。
- ・組織・配列、人権の取扱いの観点から、教出、帝国を評価する調査員が多かった。

〔主な質疑〕

- 委員：公民は日本語の表現が難しいが、各発行者の難易度についてはどうか。
- 調査員：日文は各ページの太字にふりがながあり、読みやすい。
- 調査員：帝国は表現がわかりやすく書かれている。
- 委員：子どもたち自身が探究的に学ぶ際、補充的・発展的に学びやすい発行者はどこか。
- 調査員：教出は「公民の窓」というコラムが充実しており、子どもたちの興味関心を広げられる。帝国の「未来に向けて」は、課題解決に取り組む姿や他者との協働的な学びについての記載がある。
- 調査員：自由社の体育館使用問題や育鵬社の平日のグラウンドの使用は、子どもの身近な話題から公民を考えられる。
- 調査員：教出、帝国は金融に関する学習が取り組みやすい。
- 委員：人権の取扱いについて、最近の社会課題と絡み合わせて特徴的な発行者があれば報告をお願いしたい。
- 調査員：帝国は子どもたちの写真、生徒の作文、障害に関する差別やLGBTQ+など、多くの題材を取り上げている。
- 調査員：日文は点字が印刷されている。触って学べるため非常にわかりやすい。
- 委員：学び方の工夫の観点で、子どもたちが対話的な学習をするときに使いやすい発行者があれば報告をお願いしたい。
- 調査員：教出は勉強の仕方、ノートの取り方、プレゼンの仕方が記載されている。
- 調査員：帝国、教出はまとめが充実している。

【数学】

- ・内容の程度、学び方の工夫の観点等について報告があった。
- ・目標・内容の取扱い、補充的な学習・発展的な学習の観点から、東書を評価する調査員が多かった。

〔主な質疑〕

- 委員：資料や解き方、見方・考え方が効果的に記載されている発行者はどれか。
- 調査員：東書は問題構成が取り組みやすく、組織的に取り扱われている。
- 調査員：東書は1章1節の前に0章があり、算数から数学への展開がていねい。数研は単元の初めに既習事項をまとめている。
- 調査員：大日本は式の途中に矢印と考え方の記載がある。

- 調査員：啓林館は文字式や式の展開、因数分解にタイルを使用している。教出も方程式でタイルを使用している。
- 委員：家庭学習という観点で、各発行者の特徴があれば報告をお願いしたい。
- 調査員：どの発行者も補充問題はあるが、数研は量が多く、巻末にはチャレンジ編もありとても使いやすい。
- 委員：教員が使いやすい発行者があれば特徴とともに報告をお願いしたい。
- 調査員：数研は最初に授業の受け方のルールが記載されている。東書は「数学の自由研究」という記載があり、生徒がレポートを作成する際の参考になる。
- 調査員：啓林館・教出・大日本の3者はデータの活用 PPDAC サイクルの流れで教科書が構成されているため、授業の展開を作りやすい。

【理科】

- ・内容の程度、補充的な学習・発展的は学習の観点等について報告があった。
- ・目標・内容の取扱いの観点から、啓林館を評価する調査員が多かった。

〔主な質疑〕

- 委員：写真の見やすさという観点から、それぞれの教科書の特徴を教えてください。
- 調査員：啓林館の図が全体的によい。大事な写真・図が大きくて適切。
- 調査員：啓林館はバランスよく見やすい。東書は生物の写真が豊富で、興味を引くものが多い。学図は実験の方法がイラストではなく実際の写真が使われており、わかりやすい。
- 委員：観察や実験のねらい・方法・考察の説明がわかりやすく工夫されている発行者があれば報告をお願いしたい。
- 調査員：学図は、気づき・仮説・課題・計画と、実験の流れが自然と身につくように構成されている。教出は、疑問や課題から実験まで1つの流れで通している。
- 調査員：学図と教出は、探究的な学習の流れがわかりやすい。
- 調査員：啓林館は、なぜこの実験をするかという説明が文章で書かれている。
- 委員：授業を組み立てていく上で一人一台タブレットを活用しやすい発行者はあるか。
- 調査員：啓林館の「活用してみよう」は、端末を使って調べたり歴史を振り返ったりしやすい。
- 調査員：学図は全ページに二次元コードがあり、教科書を拡大して見ることができる。
- 委員：文字のバランス等について、特徴を教えてください。

- 調査員：啓林館は大半が真ん中に文字、両サイドに写真。統一されており見やすい。
- 調査員：教出はフォントが一番大きい。
- 調査員：啓林館、東書、大日本は文字の大きさが見やすい。

【美術】

- ・内容の程度、組織・配列の観点等について報告があった。
- ・目標・内容の取扱い、分量の観点から、日文、光村を評価する調査員が多かった。

〔主な質疑〕

- 委員：生徒が親しみやすい鑑賞の教材を取り上げている発行者があれば報告をお願いしたい。
- 調査員：開隆堂は巻頭に映画「すずめの戸締り」や「ジョジョの奇妙な冒険」の作者の作品が、古典的な日本の作品と一緒に取り入れられている。
- 調査員：光村は和紙の質感や色を実際に楽しめるページがあり、わかりやすい。
- 調査員：開隆堂は表紙が触覚で楽しめる。
- 調査員：日文は屏風の美の仕掛けで実際に折り、ジグザグを表現できる仕掛けがよい。
- 委員：表現の活動で子どもたちに表現の工夫を教えやすい発行者はどこか。
- 調査員：光村の別冊資料は制作の過程がわかりやすく、説明にも使いやすい。
- 調査員：日文は鑑賞の題材に問いかけがあり、言語活動の充実・表現への充実につながる。
- 委員：一人一台タブレット端末と親和性がある発行者はどこか。
- 調査員：開隆堂は二次元コードからアイデアシート、ワークシート、鑑賞シート、振り返りシートがあり、表現と鑑賞の活用が図れる。光村は、高精細画像・動画・360度立体作品の写真が子どもたちにとってわかりやすい。光村の作者のインタビュー動画は、作った方の思いが聞ける。

【保健体育】

- ・目標・内容の取扱い、学び方の工夫の観点等について報告があった。
- ・組織・配列、人権の取扱いの観点から、大修館を評価する調査員が多かった。

〔主な質疑〕

- 委員：日常生活とのつながりの観点で、各発行者の特徴があれば報告をお願いしたい。
- 調査員：大修館は発展課題の資料があり、日常生活から考えさせる工夫がある。

- 調査員：大日本は各章の末に「学びを生かそう」という意見交流のページがあり、子どもたちの実生活に生かせる。
- 調査員：東書は各章の最初に職業のコラムがあり、二次元コードをたどるとその人の詳しい話を聞くことができる。
- 調査員：学研の「探究しようよ」は深い学びや発展になる。
- 委員：保健は男女共修の実施となってきたが、配慮がある発行者があれば報告をお願いしたい。
- 調査員：大修館は性や多様性について取り組むべき項目が入っている。性的マイノリティについても2ページにわたって記載がある。
- 委員：人権に配慮した記載について発行者の特徴があれば報告をお願いしたい。
- 調査員：大日本は見開き左に文章、右に資料で視覚的にバランスがよい。
- 調査員：パラスポーツはどの発行者にも記載がある。大修館はスペシャルオリンピックなどより幅広い内容を扱っている。
- 調査員：大修館は資料が緑色の線で囲まれており、資料の区別がしやすい。

(4) 今後の予定について

- ・ 7月4日（木） 第3回選定委員会（調査員報告会）